

屋外広告物の落下事故は あなたの会社やお店の信用も落とします

平成27年2月、北海道札幌市内で屋外広告物の一部が落下し、歩行者を直撃して、意識不明の重傷を負わせる事故が発生しました。

屋外広告物は、雨や風、強い日差しにさらされています。表面はきれいでも、内部が劣化し落下や倒壊の危険が高まっているかもしれません。

定期的に点検を行い、安全管理に努めましょう！



安全管理って何をすればいいの？

**危険の兆候を確認！
早期発見が事故を防ぎます。**



サビ 鉄骨やボルトのサビは、破損の第一歩

サビ汁がたれていたら、内部が腐食しているかも？



汚れ



ズレ 盤面のズレや取付具の欠落は落下の前触れ

漏電している場合は、火災の危険性も！



照明不点灯

サビが出てるけど、どう対処したら…？

**見つけたら専門業者に相談！
早期対応が費用を抑えます。**

早めに処置すれば、サビを落とし保護材を塗布すれば済むものも、放っておくと取替えや大規模補修により多額の費用がかかります。

事故が発生した場合は、賠償責任を問われることもあります。

そのような事態にならないよう、危険箇所を発見したら屋外広告士や屋外広告業者などの専門業者に相談しましょう。



袖看板の底部脱落



ポール看板の倒壊

どのタイミングで点検するの？

更新申請時に総合的な点検を！

看板は、会社やお店の「顔」です。いつでも綺麗かつ安全であるために、安全点検のスケジュール化が有効です。

許可更新の申請のタイミングで、しっかりと安全点検を行いましょう。

また、許可の必要のない広告物であっても定期的な安全点検を実施しましょう。

日常の管理と定期的な安全点検で、あなたの看板は美しく長持ち！